

# 「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		会計事務費〔法定調書作成事務〕											
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	会計管理費	事業番号	1		
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの											
担当部署・課長名		会計			課			出納			係	課長名	當摩 弘
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		行		－ 2	
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現								総合計画書 (ページ)				122	
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）								
	市議会議員、非常勤特別職等市が雇用する者、及び市が賃借する土地の所有者等				法定調書作成のための所要日数								
	→												
この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。〔簡潔に〕				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）								
	市議会議員、非常勤特別職等市が雇用する者、及び市が賃借する土地の所有者等への支払額、源泉所得税額等をまとめる。				対象者数								
	→												
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）								
	対象者に対して法定調書の送付を適切に行うとともに、立川税務署及び各自治体にも提出する。				作成枚数								
	→												
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標					
	対象指標	①の数値	日	60	60	60							
	成果指標	②の数値	人	2,331.0	2,286.0	2,021.0							
	目 標	②の目標値											
	目標値設定の考え方（課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。）												
3 経費	事業費（実績）		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外）年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）						
	財源	一般財源	円										
		特定財源	円										
		（うち受益者負担）		円									
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.4							
		所要人数(再任用)	人										
		職員人件費(再任用以外)	円	1,648,800	1,662,000	3,352,000							
職員人件費(再任用)		円											
事業費＋人件費		円	1,648,800	1,662,000	3,352,000								
4 課題	今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ※廃止したものを除く												
	①近年、法定調書の提出媒体としてeTAXやeLTAXが推奨されてきており、財務会計システムとの連携が課題となっている。 ②法令上義務付けられていない所得税法第204条支払調書及び不動産調書の控えの対象者への送付を合理化できないか検討の余地がある。												
5 今後の方向性	仕事の方向性（「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ※廃止したものを除く												
	①eTAXやeLTAXの利用を検討していく。 ②所得税法第204条支払調書及び不動産調書の控えの対象者への送付の合理化を検討する。												